





# 今秋の立太子式

## 全國小學校生徒の進行列

立太子式は、今秋十月二十一日、皇居内閣府で挙行される。この式は、明治四十二年立憲の公布以来、初めて行われる。式は、皇太子陛下の御即位に次ぐべき、國家の大典である。式は、皇太子陛下の御即位に次ぐべき、國家の大典である。式は、皇太子陛下の御即位に次ぐべき、國家の大典である。

# 御土産の明石鯛

## 母君陛下に御對面あらせらる

皇太子陛下は、御即位に次ぐべき、國家の大典である。式は、皇太子陛下の御即位に次ぐべき、國家の大典である。式は、皇太子陛下の御即位に次ぐべき、國家の大典である。

# スミス氏の曲乗飛行

## 青山練兵場觀覽者で埋る

八月午後二時より、スミス氏の曲乗飛行が、青山練兵場で行われた。観覧者は、曲乗飛行の面白さから、練兵場には日米國旗を交した。



# 日本人は勤勉なる國民よ

## 勞働第一に感服

ボーイに金五十圓の祝儀。來朝せる印度の大富豪タ、氏。ボーイに金五十圓の祝儀。來朝せる印度の大富豪タ、氏。ボーイに金五十圓の祝儀。來朝せる印度の大富豪タ、氏。

# 阿部清のゴヤ

## 比阿部清のゴヤ

阿部清のゴヤ。比阿部清のゴヤ。阿部清のゴヤ。比阿部清のゴヤ。阿部清のゴヤ。比阿部清のゴヤ。

# 五月場所大相撲

## 撲と新番附

五月場所大相撲。撲と新番附。五月場所大相撲。撲と新番附。五月場所大相撲。撲と新番附。

# 海軍の必要

## 海軍の必要

海軍の必要。海軍の必要。海軍の必要。海軍の必要。海軍の必要。海軍の必要。

# 世に随一稱へ

## 世に随一稱へ

世に随一稱へ。世に随一稱へ。世に随一稱へ。世に随一稱へ。世に随一稱へ。世に随一稱へ。

# 埋れた

## 埋れた

埋れた。埋れた。埋れた。埋れた。埋れた。埋れた。

# 間島の富

## 間島の富

間島の富。間島の富。間島の富。間島の富。間島の富。間島の富。

# 並木を盗伐す

## 並木を盗伐す

並木を盗伐す。並木を盗伐す。並木を盗伐す。並木を盗伐す。並木を盗伐す。並木を盗伐す。

# 演藝案内

## 演藝案内

演藝案内。演藝案内。演藝案内。演藝案内。演藝案内。演藝案内。

# 連夜満員

## 連夜満員

連夜満員。連夜満員。連夜満員。連夜満員。連夜満員。連夜満員。

# 御礼申上候館

## 御礼申上候館

御礼申上候館。御礼申上候館。御礼申上候館。御礼申上候館。御礼申上候館。御礼申上候館。

# 黄金館

## 黄金館

黄金館。黄金館。黄金館。黄金館。黄金館。黄金館。

# タリヤ

## タリヤ

タリヤ。タリヤ。タリヤ。タリヤ。タリヤ。タリヤ。

# 流経新薬

## 流経新薬

流経新薬。流経新薬。流経新薬。流経新薬。流経新薬。流経新薬。

# 山岸祐太郎

## 山岸祐太郎

山岸祐太郎。山岸祐太郎。山岸祐太郎。山岸祐太郎。山岸祐太郎。山岸祐太郎。

# 中島省三

## 中島省三

中島省三。中島省三。中島省三。中島省三。中島省三。中島省三。

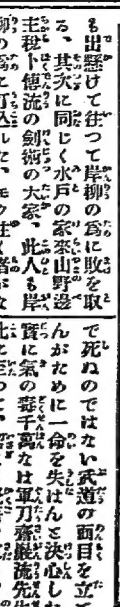






第四回

さて澤田李左衛門は佐々木劍道流の  
柳と名乗つて小石川靈苑に道場を出  
し、造り道場が盛大になるに随つて  
石川巖流先生を慶介の如く嘲罵る、  
之が發流先生の道場、聞えんに依つ  
て師範代をして居る梅澤源次郎とい  
ふ者が、姓名を偽してつて岸柳の道場へ  
來て他流仕合をした所が、文平佐吉に  
勝たれど、岸柳の至左衛門に負け  
た。次に小石川水戸中納言の家來、注  
文次郎、此人は有名な選手だが、此人  
惡口をされて病氣といつて、引籠つ  
て居れば、熊木半柳に勝つ見込がな  
い。に依つて虚稱を擡へて居ると言  
はれる、然る時は流名の耻辱となる  
さればとて病氣を押しして他流仕合に  
往つた所が、元々病中であつて見え  
ば負けな所、いふ保證は出來ない、  
負けした時は流名のみならず水戸中納  
言源次郎の御耻辱になる、絶體絶命  
の境合に立至つたに依つて、家來身名  
捨て名を全うするが上策、幸甚幸甚



日曜祭日午後二時迄

退す刀に暗帳を貫き前に俯して息絶えたる有様、叱咤懸いた武藏立寄つて手を押へて見れば冷切く求の如く夜前に生害したものと見える、前の柵机を見ると二通の遺書があつて一通は自分の名宛一通は息女の方へ一通は門人へ宛てたもの先づ武藏殿へとしてある遺書を聞いて見ると薄雲の匂ひも亂れず、斯々の次第に打掛る拙者の志を慰いで岸柳を打込む者は門人多きが中に貴殿一人婿男の情節を思ひ岸柳の道場へ来込んで修羅の妄執を晴らして呉れるやうで湯いふ短文ながら心暖める遺書熱湯の如き泪をハラハラと落し、男の手を取つた宮本武藏「武二、先生噫かし残念に思召したてでございます」

う私も我より先生の名代とし岸柳の道場へ来込んだことは存じましたが家を思ひ身を思ひ、尚又流名の疵になる事を恐れ躊躇して居りましたのが一生の過で、悔て遅らね先生の御最期、併し最期の際までも武藏を人がましく思召され志を繼いで呉れるのを頼み、不肖なれども宮本正名謹かに承はりました必らず宮坂の道場に乘込んで岸柳を打込み先生の安眠の咄れしますやう致します、どうも武藏退はすやうに」と壁に落る血の目印

科 徴 皮

生 勝 麻 皮  
殖 脱 病 腐  
器 病 毒 病

機 能 障 碍

丁 二 町 治 明 城 京  
子 元 元

院 醫 藤 佐

(番三七一話電)

[illegible]

銀行一般の業務は確實を旨とし、精々御便利に取扱申候  
内地朝鮮並に歐米樞要地に爲替取引先有之候

株式第一銀行 京橋支店

頭取 男爵 澁澤榮一

會社



肌はだの荒あられて白しろ粉こなの斑まだらになる人、常に皮膚  
 のカサ／＼して硬かたばる人は勿論、何人なんにんも  
 是こゝを朝夕用もちふれば肌柔なめやかになり肌理細こま  
 く、顔色鮮あざやかに麗うつくはしくなる美顔料みがんりょうなり。

御園みそのクレム  
 定價 十錢 二十錢 五十錢

白粉下しろこなとしては極少量を指先にて顔に延の  
 き其上へ刷毛にて御園粉白粉をはき付く  
 れば洋風の化粧となり、煉白粉を塗れば  
 品よき和風薄化粧となる重寶の品なり。

丸見屋商店  
 伊東 胡蝶園

クラブ美の素白粉  
 他たの白粉しろいには  
 眞似まねが出来ぬ  
 クラブ美の素白粉とクラブ白粉とはクラブ洗粉本店化学研  
 部で最近發明しました獨特の美身劑が配合してありますから  
 附けて高尙で非常に美しく洗った後の生地の色までも白くな  
 といふ不思議な作用を有て居ますので此の點は他の白粉に比  
 例の出来ぬ特長でございます尙他の白粉よりは遙かに分子  
 細いのでノリも一番良い上に永くお化粧が崩れませ

クラブ美の素白粉とクラブ白粉とはクラブ洗粉本店化学研究部で最近發明しました獨特の美身劑が配合してありますから附けて高尙で非常に美しく洗った後の生地の色までも白くなるといふ不思議な作用を有て居ますので此の點は他の白粉に眞似の出来ぬ特長でございます尙他の白粉よりは遙かに分子が細いのでノビも一番良い上に永くお化粧が崩れません

其の  
 物で  
 一番美しく  
 つく白粉は  
 クラブ洗粉本店新發明の  
 不思議に生地



クラブ洗粉本店新發明の……不思議に生地の色までも白くなるクラブ白粉と







國際糧食輸送委員會たる在英國日本大  
道長 官會議の爲め入京中

同  
 四倉直新舞臺  
 金時錦  
 同  
 品川原  
 大信松太郎

私に明治四年、二條錦山局長時代に平糶を知つてゐる、其の翌年、（一）寺田見物の歸りに泊つたが、（二）一夜ですぐ歸京して、（三）這般の平糶は他日致しませう。

先生何所見。老松枝上晚鶴聲。

鐵業出願

記事欄外にあり

▲代理店

京坂南大門通  
金山辨天明  
元山港

新井  
大黒  
石田  
南生堂

金六(實二)

主司介(實二)

子勝野新里

編任兵衛

同

<p>りは に就て學べ</p> <p>成じやうとした たつたばかりに がある。さう 手紙をキレイに に書められ 人もある。 れば文字の巧拙 に影するかも にあり云ふも に人合せよ！ 興あり。</p> <p>習字速進會 話本局四八四八番</p> <p>見本付則會大 無代進呈</p>	<p>史論 定價 八圓 選料 八圓 定價 八圓 選料 八圓</p> <p>品索傳 定價 八圓 選料 八圓 定價 八圓 選料 八圓</p> <p>東京 一城 大阪 二城 名古屋 三城 神戶 四城 横濱 五城 京都 六城 福岡 七城 仙台 八城 青森 九城 秋田 十城 山形 十一城 岩手 十二城 宮城 十三城 福島 十四城 茨城 十五城 栃木 十六城 群馬 十七城 埼玉 十八城 千葉 十九城 東京 二十城</p>	<p>院 新聞舖</p> <p>重慶、一、行院、立、柏、楓 赤、黒、松、桑、白、内、栢、楓 植物園、東、大、門、内、一、四、五 各種、同、様、相、同、一、四、五 各種、同、様、相、同、一、四、五</p>	<p>盛なり 二種あり 大瓶小瓶の 二種あり</p> <p>最も適當</p> <p>井上 藥舖</p>
--	--	---	---

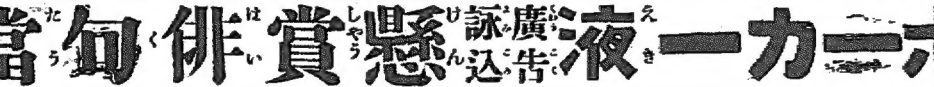






日餘俵おさるが、

化粧料となる美人




 表<sup>ペ</sup>發<sup>ハ</sup>選<sup>セ</sup>

[illegible][illegible]